

# しおんだより VOL.13



## 当院の文字通りの顔でありフロントです

外来で通院されている方、ご入院される方、さらには、様々な連携でご連絡・ご来院いただく地域の医療・介護関連職の方にとって、最も身近でなじみのあるのが当院の医事課のメンバーだと思います。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり、ビニールカーテンの向こうでマスクをしているのでなかなか分かりづらいと思いますが、「地域の方々に思温病院があるから安心・安全とさせていただく」という当院の理念を胸に、毎日、沢山の皆様方に対応させていただいています。

また、外部の方だけでなく、内部の仕事も沢山あります。院内で行われた治療を正確に保険診療として算定し、正しく計算することは、患者さんにとっても病院にとっても極めて重要です。多い日には午前中で100名近くの患者さんも見ながら、150名を超える入院患者さんの診療についても、日々の仕事をこなしていく必要があります。お金に関することですので、ミスの許されない、大変緊張する場面も多いのがこの医事課です。そんなタフな状況でも、笑顔を絶やさずにチームワークで乗り切っています。

外来にせよ入院にせよ必ず事務的な手続きが必要です。また、様々な要件で、毎日、沢山の電話をいただきます。どんな場合でも、まず皆様を最初にお迎えし、安心して治療が受けられる体制を整えるメンバーです。

## 令和4年3月には、電子カルテシステムを導入予定です



毎日、沢山の検査や処置を、正確に算定していくためには、それらの記録が残されたカルテや、沢山の伝票をたどっていく必要があります。

計算は、すでにレセプトコンピューターシステムを導入し、電算化していますが、当院においてはカルテは、まだ、紙であり電子化されていません。ですので、決して広くは無い医事課の中は、沢山の書類がありますし、入院・外来のカルテも沢山あります。

しかし、そんな当院も、ようやく電子カルテシステムを導入することになりました。10月にはキックオフのミーティングを開催し、今は、現場の各部署のヒアリングを行いながら、当院の業務をより効率的・効果的に行うための準備を進めています。

予定では、令和4年3月に電子カルテシステムに移行する予定です。そうすると、このような風景ももう少しシンプルですっきりしたものになっていくでしょう。楽しみです。

## この時期の病院からは、きれいな夕焼けが見えます

私が中学・高校時代を過ごした大阪星光学院は、夕陽丘という上町台地の端っこに位置することもある。秋の夕方には、通天閣とともに大きなオレンジ色の夕焼けが見えたものです。それから30年あまり（！）が経ちましたが、当院の5階からも、この時期、きれいな夕焼けが見えます。

個人的には、忙しい1日を終えて、医局に帰ってきた時に、青春時代を思い出すきっかけになる風景を目にできることは、何か、疲れが流されるような感じすらします。あなたも、思い思いの場所で、是非、この時期ならではの夕焼けを楽しまれてはいかがでしょうか。



心洗われるひとときです…！

しおんだより 第13号 発行日：令和3年11月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)